

第30回FD・SDフォーラム ワークショップ4  
2025年3月2日（日）@龍谷大学深草キャンパス

# 大学空白地における 域学連携と 地域活性化

担当コーディネーター：野村 実  
(大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科)



# 01 ワークショップ の趣旨説明

---

## 趣旨説明

# ワークショップ4の「問い」

**いま改めて「地方創生」がさけられる中、  
大学にはどのような役割が求められているのだろうか。**

この分科会では、京都府北部地域等の「大学空白地」ともいえる大学の少ない／少ない地域において、大学がいかなる役割を果たすことができるのか、特に域学連携と地域活性化の観点から、京丹後市の「夢まち創り大学事業」に関わる方々と一緒に考えていきます。



# 02 登壇者の紹介

---

# 登壇者のご紹介

「大学のないまち」で域学連携と地域活性化に関わるみなさま

行政

京丹後市政策企画課  
青木 滉人 主事

中間支援組織

一般社団法人まちの企画部  
井上 健吾 コーディネーター

大学

福知山公立大学地域経営学部  
杉岡 秀紀 准教授

# コーディネーターの 簡単な自己紹介

大谷大学社会学部  
コミュニティデザイン学科 講師

## 野村 実

1990年兵庫県宝塚市生まれ、丹波篠山市出身。  
立命館大学大学院社会学研究科 博士後期課程修了  
博士（社会学） 専門：地域交通政策、社会学  
担当科目：地域と経済、コミュニティ形成論、学科の  
プロジェクト科目「地域交通・買い物アクセスプロジ  
ェクト」@京都府京丹後市／兵庫県丹波篠山市  
委員等：兵庫県丹波篠山市地域交通会議・会長、京都  
府大山崎町地域公共交通会議・会長、和歌山県地域生  
活交通確保支援事業・アドバイザーなど。



# 京丹後市での地域交通活性化に 関わる活動とメディア出演

(3) (第3種郵便物認可) 文化 時報 2024年(令和6年)11月5日 火曜日

チェックポイントを巡ってゲームを楽しむ参加者たち  
11月19日 京都府京丹後市の金刀比羅神社

週刊仏教タイムス 2024年11月7日 3面

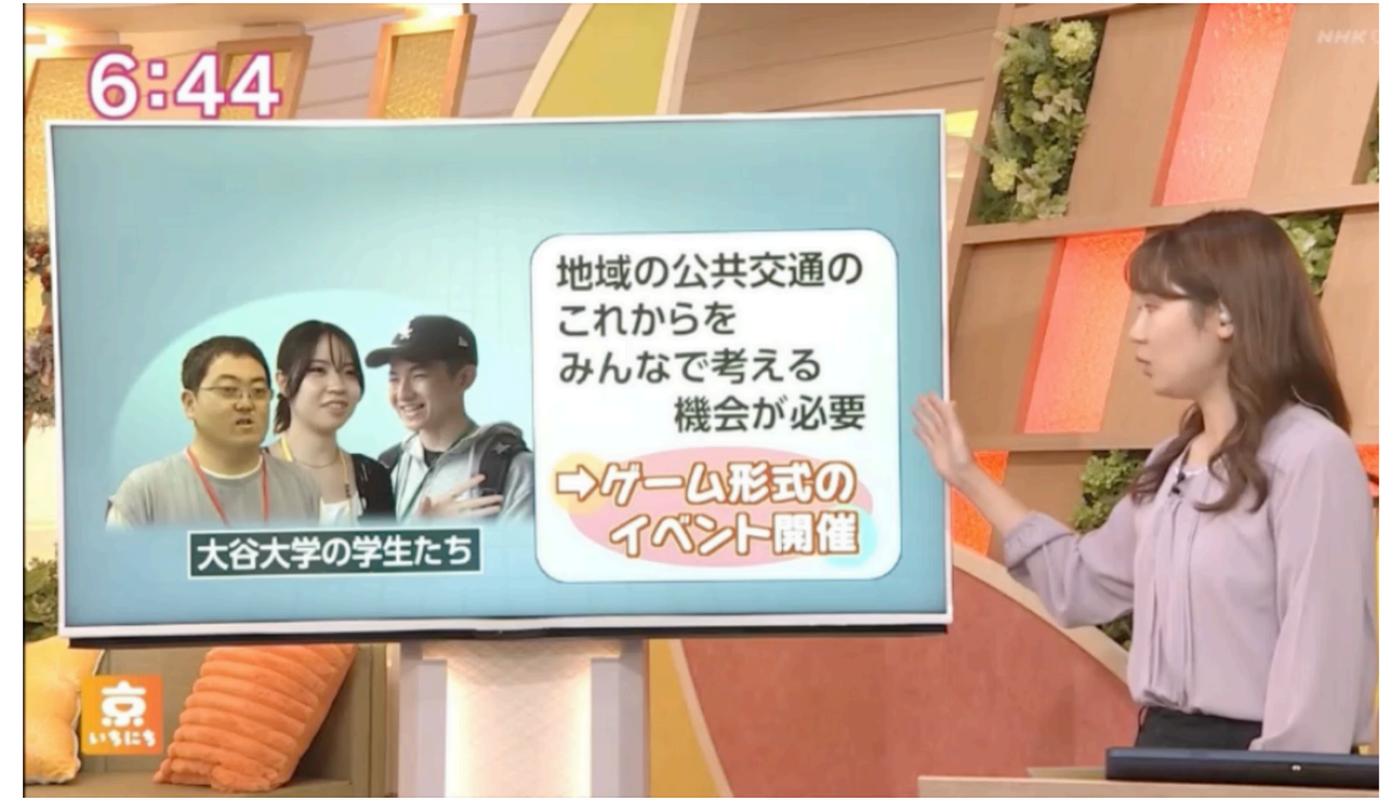
大谷大生案 地域交通ゲーム  
高齢社会の移動考える

車社会に一石投じるか

学生考案「モビリティロゲーニング」  
大谷大学、京丹後市で開催

過疎地域でさまざまな交通手段の価値に気付いてもらおうと、真宗大谷派の宗門校 大谷大学（京都市北区）は10月19日、京都府京丹後市で学生考案のゲーム「モビリティロゲーニング」を

行った。スタンパリのような野外活動ゲームで、市民と学生ら約40人があらゆる移動手段を駆使して市内のチェックポイントを巡った。  
(富田京介)



# 03 今日の流れの 説明+導入

---

# 今日の流れ

## 【前半】 14:00～15:00

- ワークショップの趣旨説明
- 講演1 「京丹後市夢まち創り大学とは」  
京丹後市政策企画課 青木 滉人主事
- 講演2 「地域と大学の上に立つジレンマ」  
(一社) まちの企画部 井上 健吾コーディネーター
- 講演3 「『大学のないまち』と大学との連携の実際」  
福知山公立大学地域経営学部 杉岡 秀紀准教授

—休憩—

## 【後半】 15:15～16:30

- ワークショップ① 「地域連携の理想」
- ワークショップ② 「地域連携の苦悩」
- 総括

—終了—



# 導入ワーク

# 自己紹介

(ご所属・お名前・参加いただいた理由について、  
簡単に結構ですので共有してください！)

# 04 ワークシヨツプ

---

# ワークのねらい

## ○お題①地域連携の理想を語ろう！

- ・ 成功事例というよりは、行政や中間支援組織、大学それぞれの立場から、現実を知っているからこそその「理想」を話してみませんか？

- ・ 役所も大学も、現状ありきで、本当は「こういうことがしたい！」という理想は、意外と語っていないのでは？

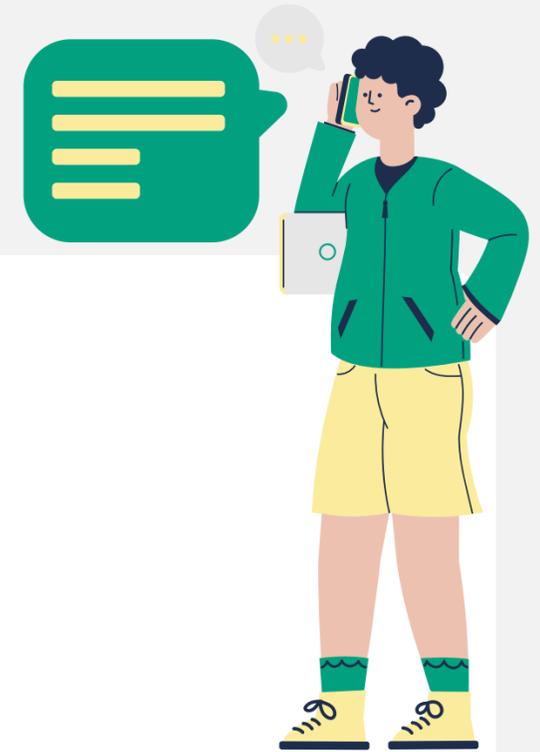
## ○お題②地域連携の苦悩を語ろう！

- ・ 理想はあるけど、実際にはこういうハードルがあるよねえ…、自分も〇〇で悩んでいるんだけど…などなど。



ワークショップ①

地域連携の理想



## ワークショップ②

# 地域連携の苦悩